

児玉新校基本計画検討委員会（第2回）議事録

日 時 令和2年7月10日（金）15：50～17：00

場 所 児玉白楊高校工業科実習棟パソコン実習室

出席委員 加藤委員長・中山副委員長・小泉副委員長・渋沢委員・浅賀委員
寺瀬委員・山崎委員・目仲委員・茂木委員・石井委員・新井委員
飯田委員・橋本委員・下山委員・池田委員・藤倉委員・田村委員
田島委員・戸田委員・齊藤委員・柳田委員・秋山委員

協 議

「児玉新校基本計画骨子（案）」について

○主な意見・質問・回答

主な意見・質問・回答	
1	<p>教科指導の具現化の中に「『実学』を重視した学び」とあるが、内容や単位数などは具体的にどのようなものか。</p> <p>（回答）「実学」を重視した学びとは、キャリア教育の充実として、学ぶ意欲や職業観、主体的な進路意識を育むことをねらいとし、実習や地域での体験活動を通して普通科でも農業科・工業科の学びを体験するものである。具体的な内容等は今後意見交換をしながら詰めていきたい。</p>
2	<p>教科指導の具現化の部分には、多くの項目が記載されているので、優先順位を付けるなどして新校のイメージをわかりやすくした方が良い。</p>
3	<p>生徒指導に関する項目は、規範意識やモラルなど当たり前生徒が身に付けるべきことが多い印象があるが、生徒指導的な面と教育相談的な面の両輪があるので、全体としてはよくできている。</p>
4	<p>進路指導の基本方針の「イ 地元企業や中学校等と連携した進路指導を実施する」のうち、「中学校等と連携した進路指導」は、中学生に新校（専門学科）についての理解を深める意図であれば、生徒募集の項目に入れた方が良い。</p>

5	<p>第1回新校準備委員会議事録に「進路指導の部分で『語学に特化した』という文言を入れたほうが良い。」とある。語学とか国際化などの意見が出てきたときの会議の状況や意見の趣旨を説明してほしい。</p> <p>(回答)会議全体を通し、国際化や世界に羽ばたくといった視点での意見が多かった。例えば、「語学教育が充実している新校」や「外国の人を受け入れる新校」など、グローバルな視点で国際社会に対応する新校とした方が良いという趣旨の意見が出された。</p>
6	<p>進路指導に関する項目は、インターンシップの実施を含め地域連携にも触れているし、多様な進路選択への対応なども骨子(案)の中に記載されているので、原案のままでよい。</p>
7	<p>骨子(案)で学級規模は6学級ということであるが、本校は4クラス規模の学校である。各学年2クラスずつ全部で6クラス増えることになるが、それに対してどのような対応をするのか。</p> <p>(回答)施設改修については、「新校基本計画」の策定と並行して、事務局で予算確保に努めていく。</p>